

報道関係者各位
プレスリリース

2026年1月16日
株式会社ベストインクラスプロデューサーズ

BICP ニューヨークオフィスがお届けする定期ウェビナー第15回
<米国最新マーケティング・コミュニケーション事情>

～急速に進行する「喜びなき」AI革命への対策～

企業及び生活者にとって、その功罪及び真のAI活用を考える。

開催日時：2026年2月17日（火）18:00～20:00

株式会社ベストインクラスプロデューサーズ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：菅 恒一、以下BICP）は、JaM Japan Marketing LLCの創業者の大柴ひさみ氏を講師としてお迎えし、第15回ニューヨークオフィスセミナーを2月17日（火）に開催します。



今回のセミナーでは、米国を中心とするマーケターとして活躍する大柴ひさみ氏の視点から、急速な進化によって生活に深く浸透したAIが、米国の生活者心理にどのような変化をもたらしているのかを読み解きます。その上で、AIとの向き合い方・付き合い方に加え、企業におけるAI活用の変化を踏まえた、新たな共創関係の兆しについてお話しします。

また、トランプ政権からの転換により社会情勢が大きく変化する中、昨年のセミナーでも取り上げた消費者の購買行動の特徴や、Purpose-Driven企業に対する社会的評価といったテーマを改めて取り上げます。変わり続けるものと、変わらずに本質として残るものを見極める視点を持っていただくための、多角的な示唆に富んだ内容となっています。

〈ウェビナー概要〉

場所 : オンライン配信（Zoom）でのウェビナー形式
時間 : 2月17日（火）18:00～20:00

プログラム	: 18:00~18:10 オープニング
	18:10~19:40 大柴ひさみ氏によるセミナー
	19:40~20:00 質疑応答（参加自由）
参加費	: 無料
申し込み URL	: https://www.bicp.jp/seminar/entry-ny15
	※フォームへの入力後、Zoomへの登録をおこなっていただく必要があります。
	※過去参加されたことがない方もご参加いただけます。

今回のウェビナーで取り上げる内容例：

1. 「喜びなき」AI革命：AIブームと生活者心理の乖離
2. 「嘘」を学ぶAI：AIは相手や状況を察知して回答を調整する
3. 6割がAI利用で「疑う力が抑制される」傾向に：均質化の罠にハマらないためのAI活用法
4. 「NikeのAI革命」事例：AIを「活用する」企業から、AIによって「再定義される」企業へ
5. 不確実な社会状況が生活者の消費行動や価値観を変え、「Dupe現象」や「リセール市場の活性化」をもたらす
6. 反DEI政策にもかかわらず、Purpose drivenな企業やサステナビリティ目標を目指す企業は生活者の支持を得ている

■大柴 ひさみ（おおしば ひさみ）氏プロフィール



創業者 [JaM Japan Marketing LLC](#)

米国在住30年以上の実体験をもとに、日本企業の米国市場向けの製品及びマーケティング戦略の開発、さらに数多くの消費者・製品調査を手がけている。16年間の電通Y&R勤務後、1995年米国移住。米国マッキヤンエリクソンを経て1998年JaMを設立。2010年以来サンフランシスコと東京のad:techでは5回登壇し、ad:tech tokyoのアドバイザリーボードメンバーとして、日本のマーケティング業界のグローバル化に貢献した。クロスカルチャーなナレッジを基に、マーケター＆消費者の両面から、時代を先取りする「リアルな米国マーケティング・コミュニケーションのInsight」は高い評価を受けている。著書にはひつじ書房刊『[ひさみをめぐる冒険](#)』、東急エージェンシー刊『[YouTube時代の大統領選挙米国在住マーケターが見た、700日のオバマキャンペーン・ドキュメント](#)』がある。また『[note - hisamioh](#)』では様々な考察を執筆中。

■株式会社ベストインクラスプロデューサーズ（BICP）について

BICPは「マーケティング思考による企業の変革と主走を支援する伴走専門会社」として、マーケティング業界に「伴走専門会社」というカテゴリを創造し、そのリーディングカンパニーを目指しています。ビジョンは「マーケティングの力で、人生を楽しめる人を増やす」です。マーケティングの思考を扱うことにより、生活者、プロダクト・サービスを提供する企業の皆様、私たちBICPの従業員の幸せが増幅する世界を描いています。

東京、大阪、住田、ニューヨークの各拠点が連携し、①生活者のインサイトを起点とした市場戦略策定、

②コーポレートブランドの戦略策定、③マーケティング教育、を主要サービスとして、クライアント企業を主走者とした伴走型支援をおこなっています。

2018年10月には、データ活用支援を強化する目的で株式会社ビーアイシーピー・データを分社化しました。Integrity（誠実さ、高潔さ）を大切にし、「企業と顧客の信頼に基づく関係構築」を実現するためのデータ・AI戦略策定、マーケティングDX推進支援、並びにプライバシーガバナンス/AIガバナンス体制構築の支援をおこなっています。また、2023年7月には地域や中小企業への支援に注力するために住田オフィスを分社化させ、株式会社ビーアイシーピー・ハナレを設立しました。グループ各社の資源を組み合わせて、マーケティング思考による市場創造と最新のデジタル潮流を踏まえたプロセス自体の変革、双方の視点を持って伴走型支援をおこなっています。

以上

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社ベストインクラスプロデューサーズ 西村・広瀬・下津（しもつ）

E-mail : seminar@bicp.jp